

# 消齡化社会の到来

～30年データで“社会と生活者の未来”を発想転換する～

今回のビジネスデザインフォーラムでは、博報堂生活総合研究所の所長である石寺さんをお迎えし、「社会と生活者の未来」についてご講演いただきます。生活者に特化した調査研究を続けている博報堂生活総合研究所からのお話ですので、様々な分野の方々にとって新たな発見や気づきが期待できることでしょう。ぜひ多くの方々にご参加いただきたいと思います。

今回も現地会場のみで、講演会後には懇話会を予定しております。



講演者

石寺 修三 氏

( 株式会社博報堂  
博報堂生活総合研究所 所長 )

講演概要

私ども博報堂生活総合研究所は博報堂グループのシンクタンクとして1981年に設立され、生活者に特化した調査研究を続けています。

「大衆」から「分衆」、そして「個」の時代へと続く流れのなか、生活者の嗜好や価値観は多様化し、まとまりを捉えることが難しくなっています。ところが、私どもが30年間続けている長期時系列調査「生活定点」のデータを分析したところ、これまで大きかった年代による嗜好や価値観の違いが縮小しつつあることがわかりました。様々な“格差”が指摘される日本も、こと質的にみると実は“違い”が小さくなりつつあるようです。この現象を我々は「消齡化社会」と名付けました。

本講演ではこの変化の背景を解明するとともに、ビジネスの前提ともいえるデモグラフィック属性が揺らぎはじめた社会と生活者の未来を考えます。課題先進国に待ち受ける変化を発想転換し、明日のビジネスのヒントにしていいただければ幸いです。

## 講演者プロフィール

1989年に筑波大学人間学類を卒業し、博報堂入社。マーケティングプランナーとして得意先企業の市場調査や商品開発、コミュニケーションに関わる業務に従事。以後、ブランディングや新領域を開拓する異職種混成部門や専門職の人事・人材開発部門を経て、2015年より現職。著書に『生活者の平成30年史 ～データで読む価値観の変化～』（共著・日本経済新聞出版・2019年）など。法政大学 非常勤講師

日時 2024年11月7日(木) 16:30～

※講演会終了後、現地会場にて18時頃から懇話会を開催予定

対象 京都大学教職員・学生、  
京都大学デザインイノベーションコンソーシアム会員

定員 30名程度(現地会場のみ)

参加費 S会員、京都大学教職員・学生：無料  
A/B/E/特別会員：2,000円

※参加費は当日会場でお支払いください。

申込 参加には、事前登録が前提となります。  
下記URLまたはQRコードよりお申込みください。  
申し込みフォームにアクセスいただけます▶



<https://pro.form-mailer.jp/fms/6e0dfe26318975>

場所 京都大学吉田キャンパス  
百周年時計台記念館2階 国際交流ホール

※京都リサーチパークでの開催ではありません。

※現地会場のみで、オンラインはありません。

運営 竹川 禎信  
(京都大学デザインイノベーションコンソーシアム シニアフェロー)

主催 京都大学デザイン学大学院連携プログラム  
京都大学デザインイノベーションコンソーシアム

問合せ 京都大学デザインイノベーションコンソーシアム事務局  
公益財団法人京都高度技術研究所 内  
担当:野木 e-mail: info@designinnovation.jp  
TEL:075-323-7073

申込締切 2024年10月31日(木)

やむを得ずキャンセルされる場合は、申込締切日までに事務局までメールにてご連絡ください。